

第3回日本リハビリテーション国際交流協会
学術大会

CBRと今後のリハ分野の国際協力

平成27年7月25日
杏林大学保健学部
河野 眞

本日の講義内容

- **Community-Based Rehabilitation (CBR)とは**
- **ウズベキスタンにおける実践例**
- **タジキスタンにおける実践例**

はじめに

- 日本並みのリハ供給体制を整備することとは？



日本の人口
1億人

PT・OT資格者数
20万人

P・O人件費(年)
8千億円
※平均年収×人数

はじめに

- 日本並みのリハ供給体制を整備することとは？



皆さんの国に日本並みのリハ体制を整備すると、
どんな規模感になるでしょう？

国の人口

日本と同じ比率の
PT・OTをそろえる
と何人？

PT・OTに平均的
年収を確保するに
はいくら必要？

その規模は現実的でしょうか？



はじめに

- 日本並みのリハ供給体制を整備することとは？



その規模が現実的でないとすると、
日本のような直接サービス提供型の
リハ体制は適してないのかも...

そんな場合の代替手段の一つとなりうるのが、
Community-Based Rehabilitation (CBR)



CBRとは

➤ Community-Based Rehabilitation (CBR)とは

- ・日本語訳「地域に根ざしたリハビリテーション」

- ・定義 (CBR Joint Position Paper 2004, WHO・ILO・UNESCO)

＝「CBRは障害を持つすべての人々のリハビリテーション、機会均等、社会的統合のための総合的な地域開発の中の戦略のひとつ」

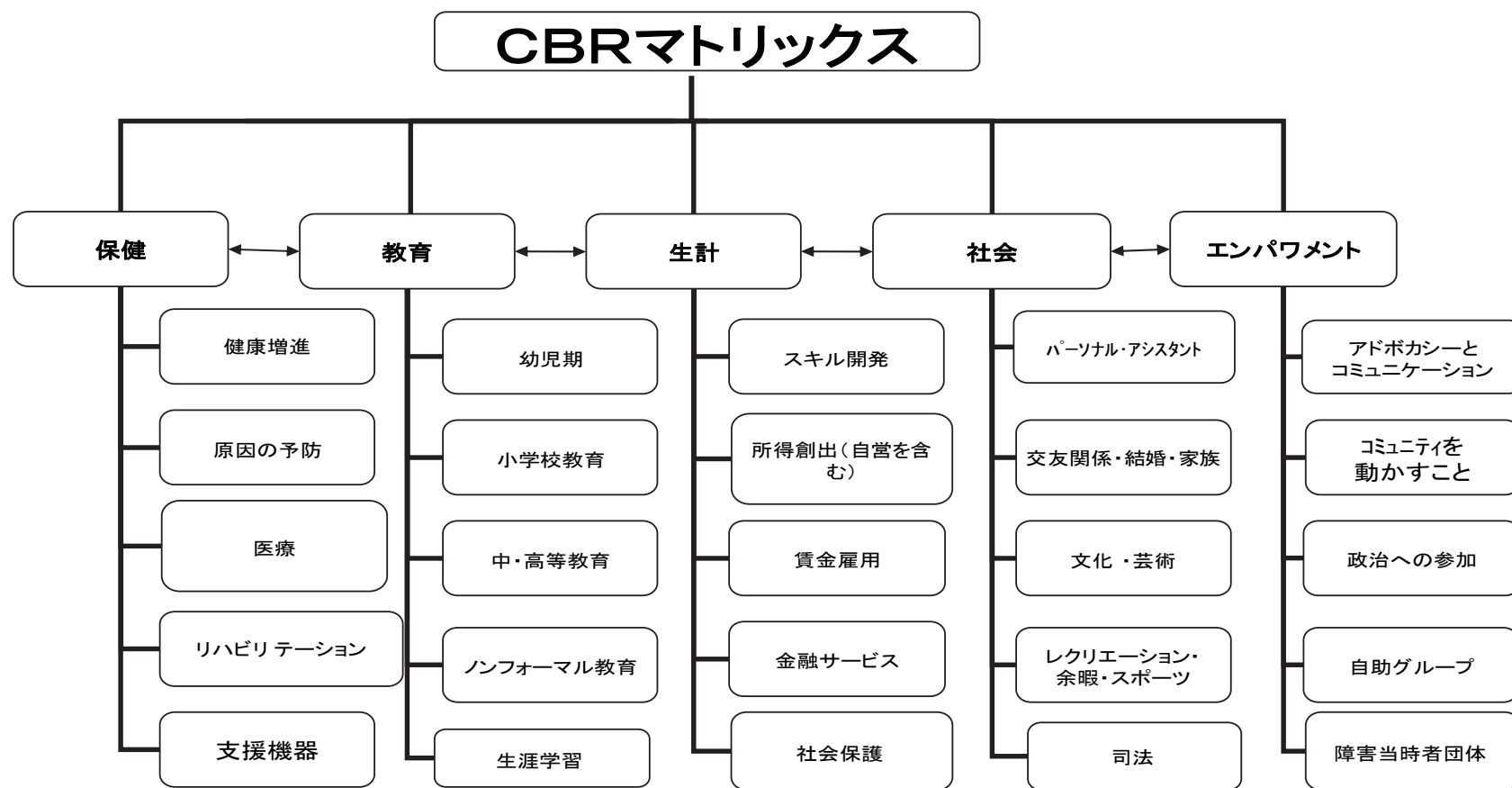
CBRとは、
障害があっても暮らしやすい地域やコミュニティを作る、
「街づくり」「地域づくり」「コミュニティ開発」

訪問や通所によって専門職がサービスを直接提供する、
いわゆる「地域リハビリテーション」とはちょっと異なる



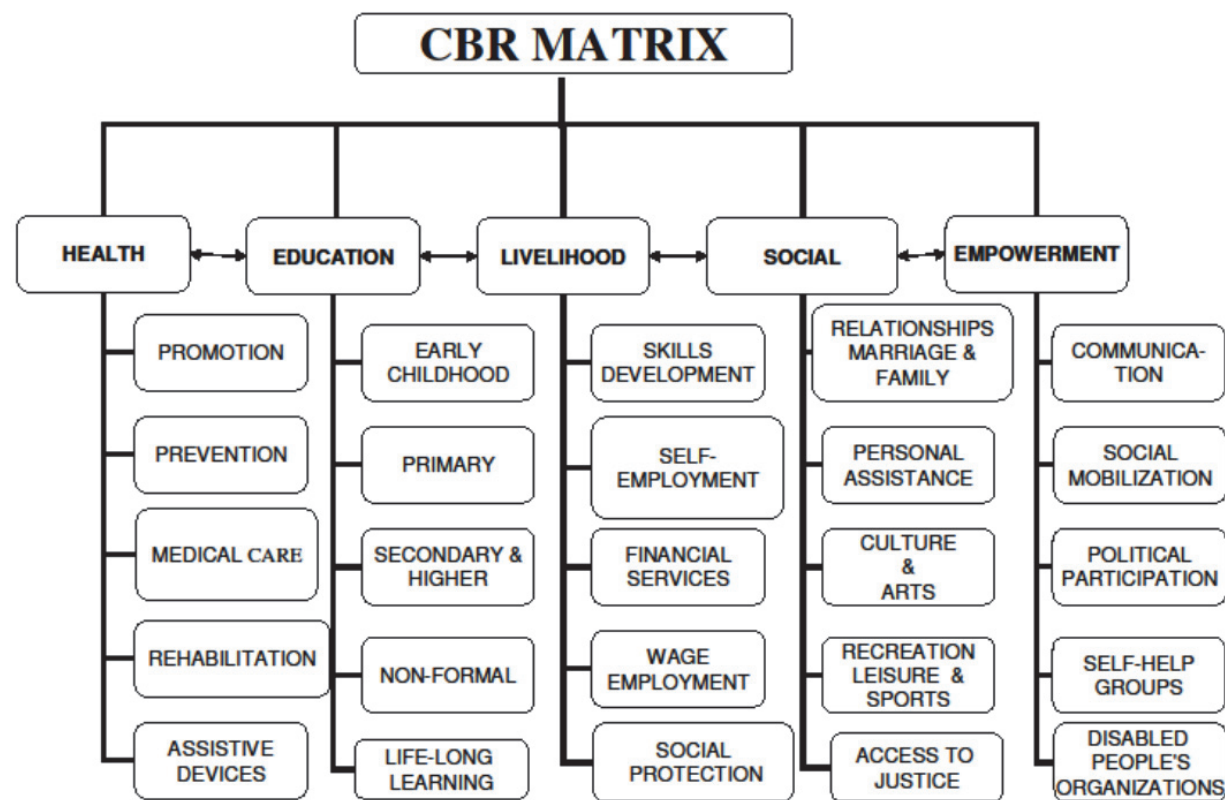
CBRとは

➤ CBRが対象とする分野



CBRとは

➤ CBRが対象とする分野



・5分野25項目

・社会生活に関連する、すべての分野を対象として実施できる

・社会生活のあらゆる分野でリハの知識・技術を活用しようという発想

CBRとは

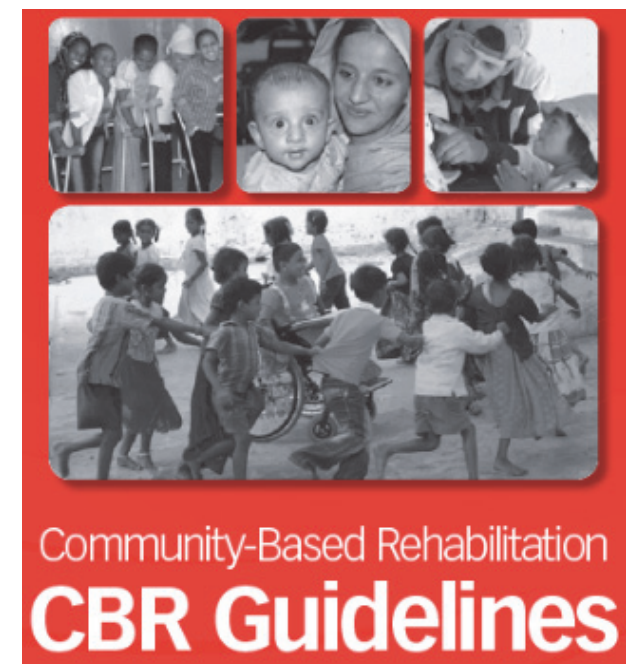
➤ CBR Guidelines (WHO、2010)

: 下記URLで全文閲覧可能

<http://www.who.int/disabilities/cbr/guidelines/en/index.html>

(日本語訳:

http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/intl/un/CBR_guide/index.html)



ウズベキスタンにおける実践例



➤ タシケント市における地域に根ざした
障害者支援事業

・実施主体

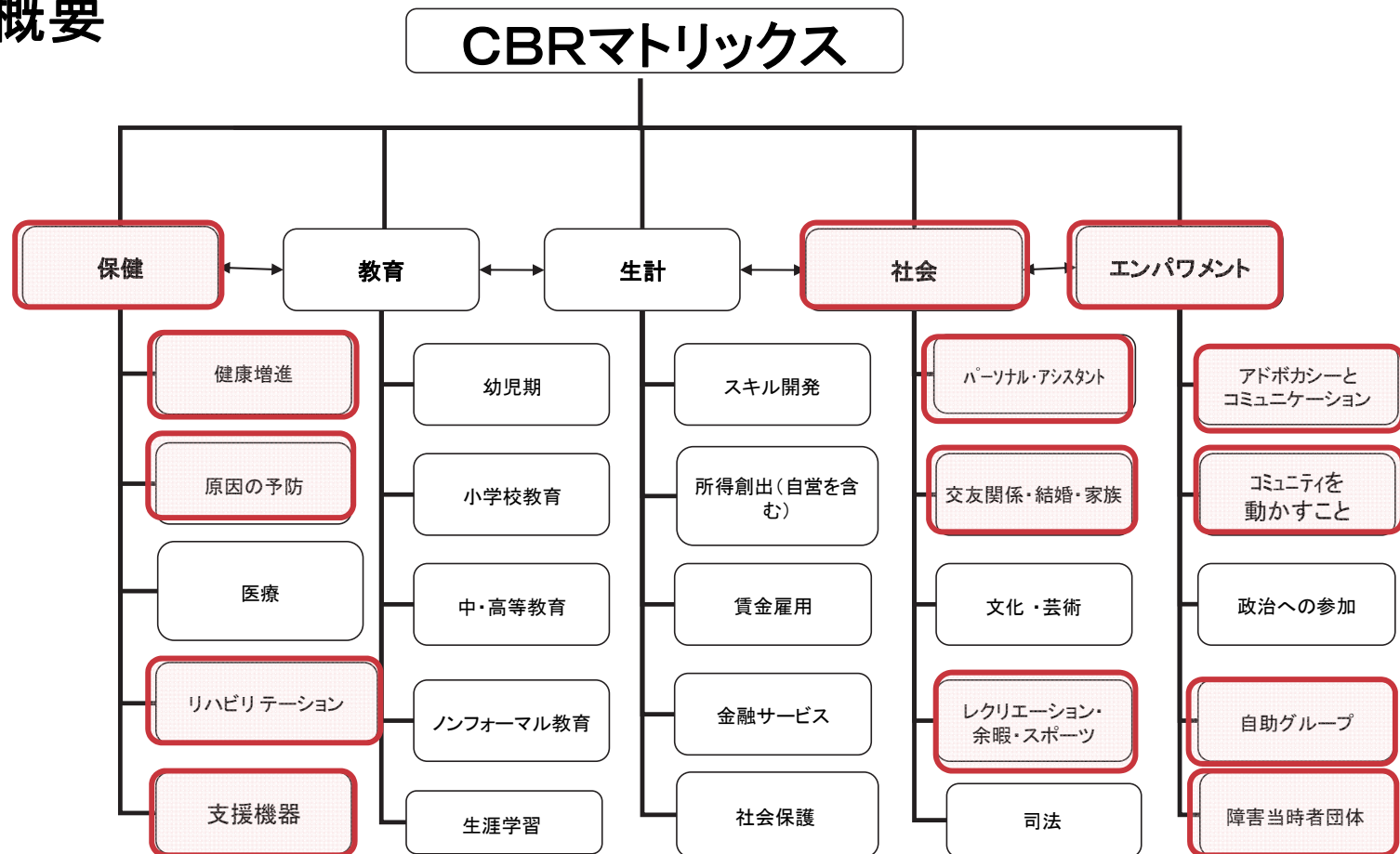
: NPO法人ワールド・ビジョン・ジャパン
(JICAの委託事業)

・実施期間

: 2008年5月1日～2010年3月31日

タシケント市における 地域に根ざした障害者支援事業

➤ 活動概要



※網掛けの分野・項目で活動を実施

タシケント市における 地域に根ざした障害者支援事業

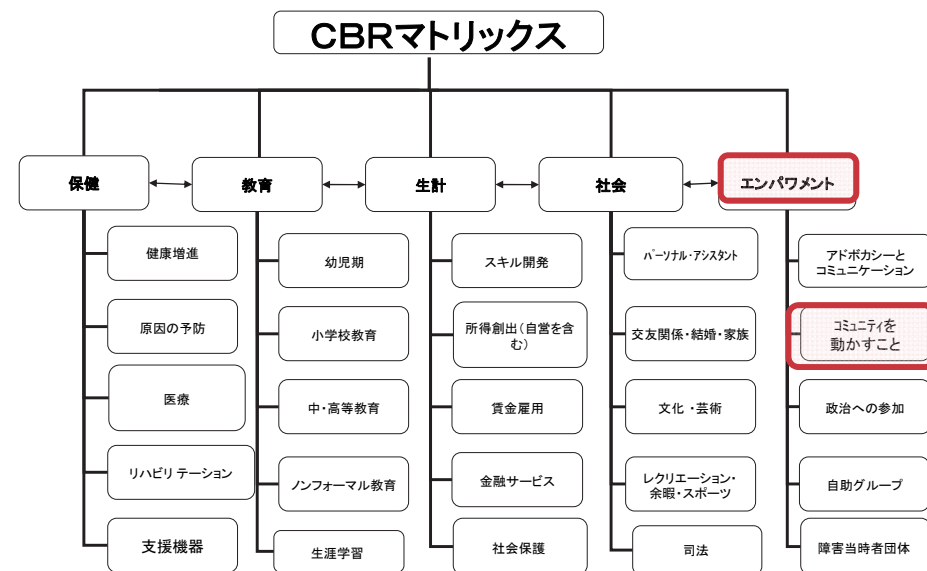
➤ 活動内容

【コミュニティモビライザーの選出】

・「コミュニティモビライザー」

＝「担当地域で中心となってCBRを展開する役割」

(※担当地域の一般住民から選出)



タシケント市における 地域に根ざした障害者支援事業

➤ 活動内容

【コミュニティモビライザーの選出】

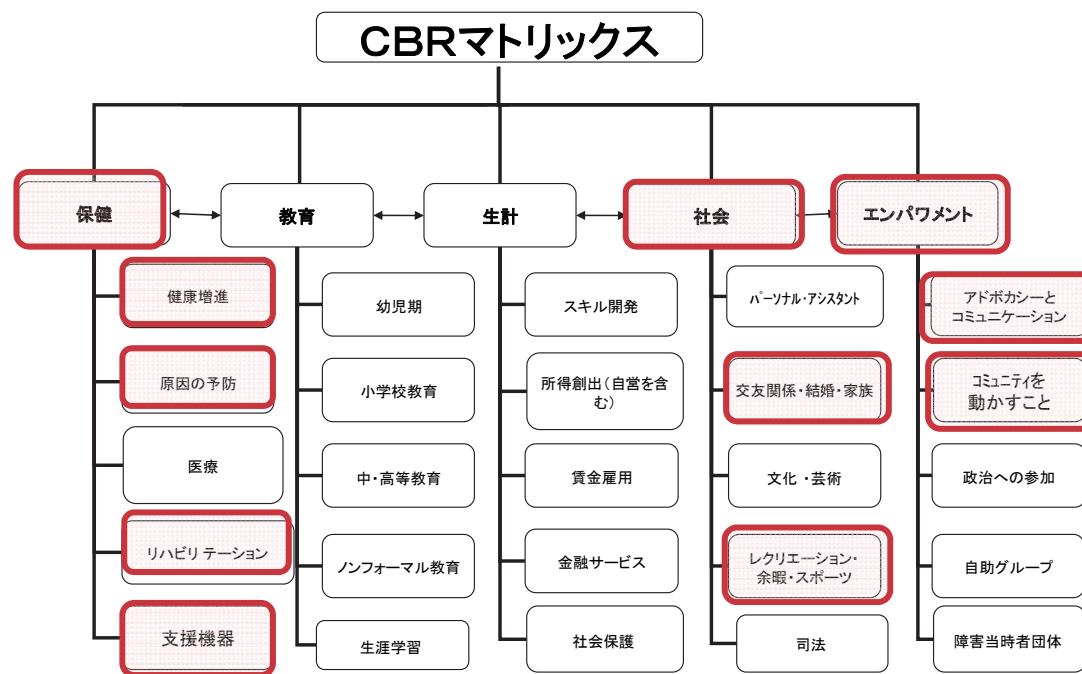


タシケント市における 地域に根ざした障害者支援事業

➤ 活動内容

【コミュニティモビライザーによる活動】

- ・モビライザー研修、家庭訪問支援、グループ活動、イベント開催



タシケント市における 地域に根ざした障害者支援事業

➤ 活動内容

【コミュニティモビライザーによる活動】

・モビライザー研修



タシケント市における 地域に根ざした障害者支援事業

➤ 活動内容

【コミュニティモビライザーによる活動】

・家庭訪問支援



タシケント市における 地域に根ざした障害者支援事業

➤ 活動内容

【コミュニティモビライザーによる活動】

・グループ活動の定期開催



タシケント市における 地域に根ざした障害者支援事業

➤ 活動内容

【コミュニティモビライザーによる活動】

・イベントの開催

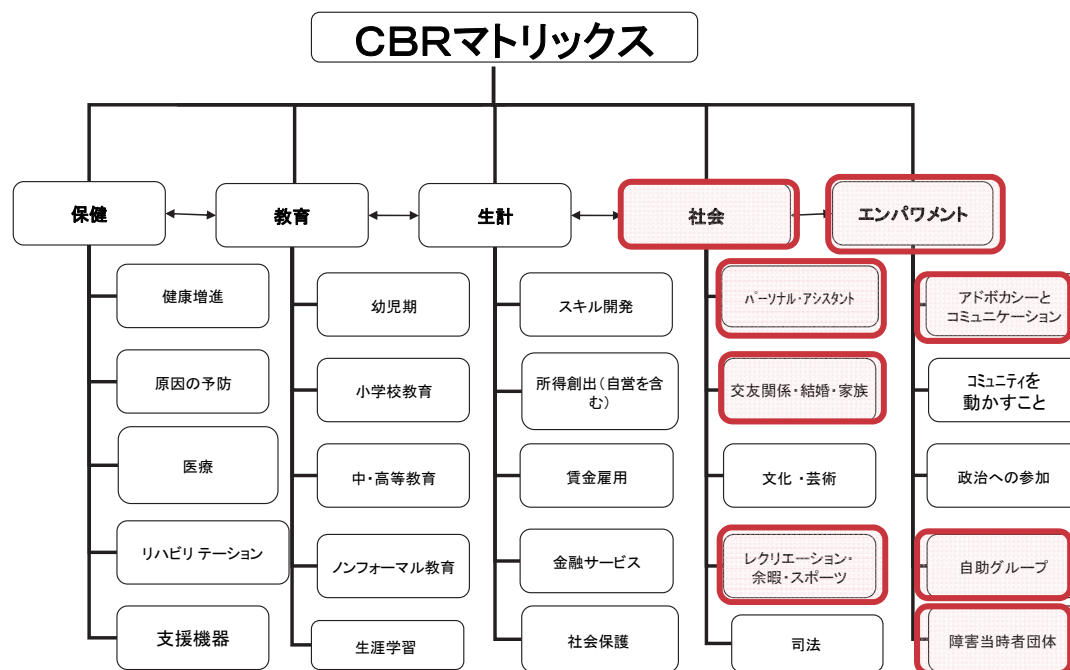


タシケント市における 地域に根ざした障害者支援事業

➤ 活動内容

【障害児の親の会、障害当事者の会の立ち上げと活動】

・勉強会やイベントの開催、学生ボランティアの募集



タシケント市における 地域に根ざした障害者支援事業

➤ 活動内容

【障害児の親の会、障害当事者の会の立ち上げと活動】

・勉強会やイベントの開催、学生ボランティアの募集



タシケント市における 地域に根ざした障害者支援事業

➤ 事業期間終了後はどうなったか？

・モビライザーの活動

: ほぼ中断

: 事業終了後1年ほどは続いていたが...

・障害当事者グループの活動

: 現在も継続

この経験からの学び

- ・一般住民からモビライザーを養成する方法は伝統的なCBRの手法の一つである

⇒しかし、新しい専門職の創設と同じ問題がある

- つまり、
- ①職業として自立する社会経済的条 件の整備
 - ②人的資源を再生産する養成制度の必要性



タジキスタンにおける実践例



➤ ドウシャンベ市における障害児のため
インクルーシブ教育推進事業

・実施主体

: NPO法人AAR Japan

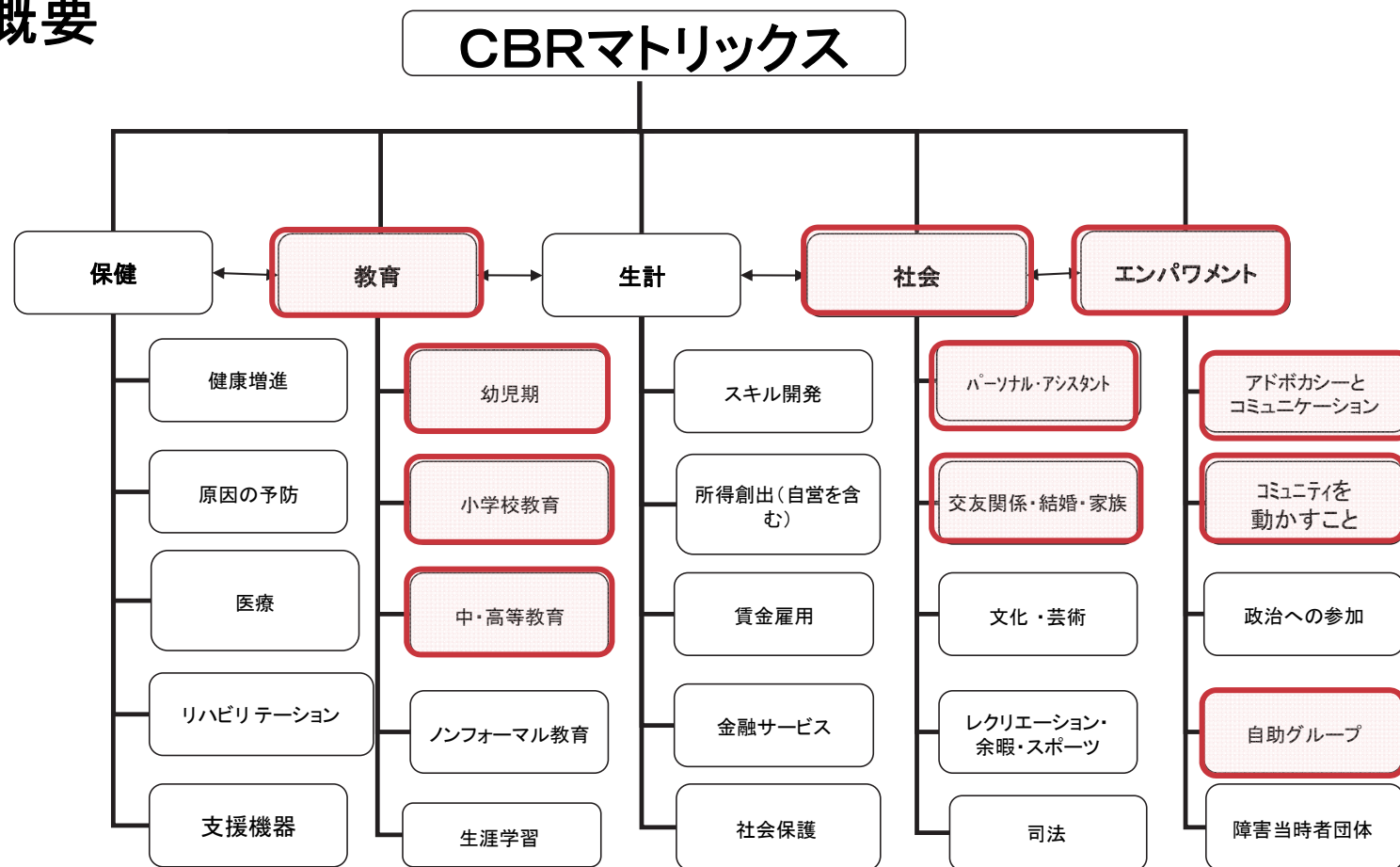
(外務省 草の根連携無償資金協力)

・実施期間

: 2014年1月29日～現在

ドウシャンベ市における 障害児のためインクルーシブ教育推進事業

➤ 活動概要



※網掛けの分野・項目で活動を実施

ドゥシャンベ市における 障害児のためインクルーシブ教育推進事業

➤ 活動内容

- ・障害児の親の会とモデル校の協力による、普通小中学校への障害児の受け入れ



ドゥシャンベ市における 障害児のためインクルーシブ教育推進事業

➤ 活動内容

- ・普通学校教員向けセミナー、相談会の開催



ドゥシャンベ市における 障害児のためインクルーシブ教育推進事業

➤ 活動内容

- ・教員養成大学との協力によるティーチングアシスタント養成



ドウシャンベ市における 障害児のためインクルーシブ教育推進事業

➤ 今回の事業で意識していること

・既存の制度・サービス・資源にリハ・障害の視点を取り入れてもらう

⇒普通学校の先生に健常児への教育の延長線上で障害児も受け入れてもらう、など



「地域づくり」「コミュニティ開発」としての
CBRの考え方にも合っているかも

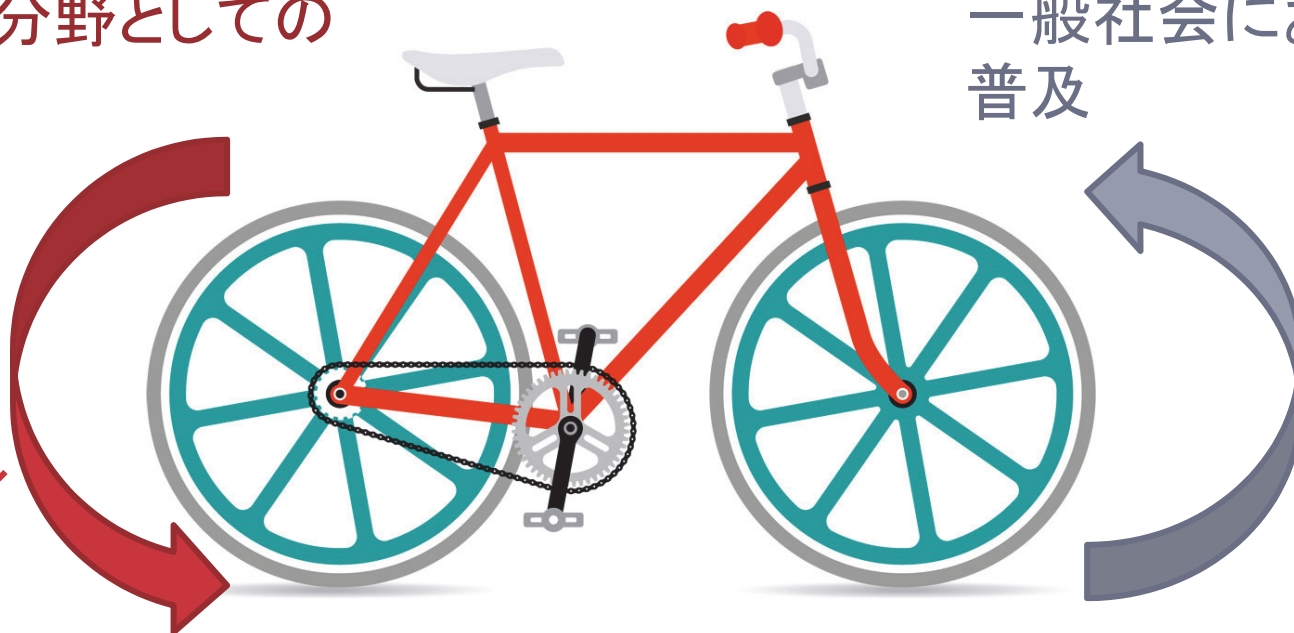
少ないリハ職を有効活用できる？

今後のリハ分野の国際協力

➤ 2つの方向性の両立させること

専門分野としての
確立

一般社会における
普及

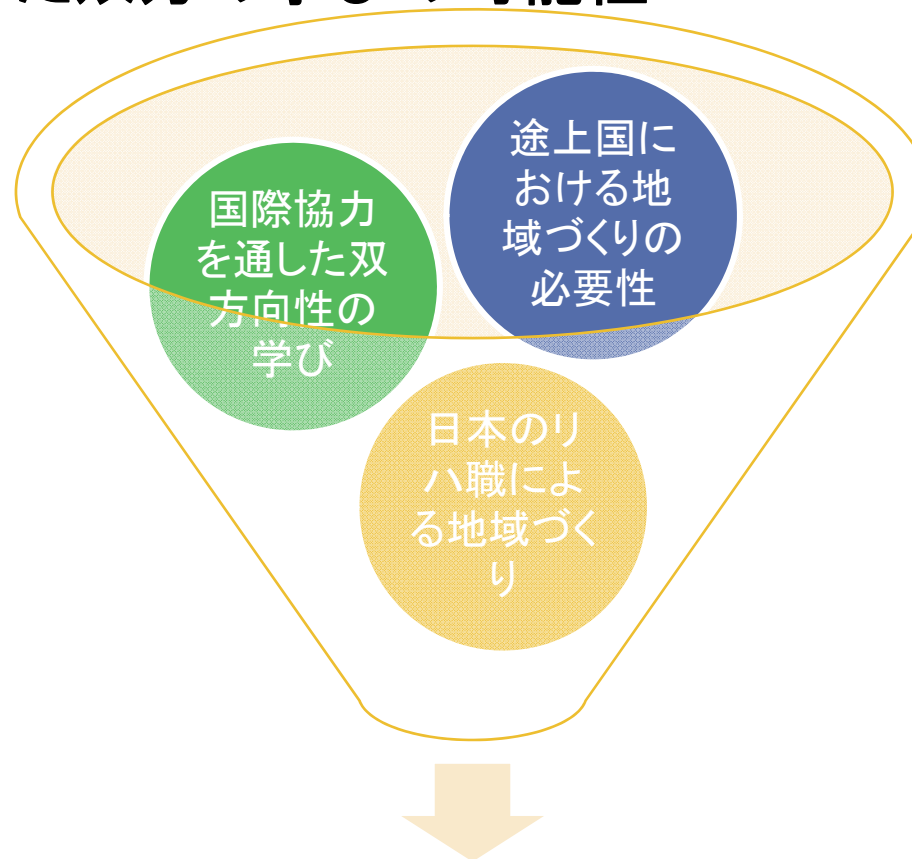


- ・専門職養成
- ・制度・政策面
- ・専門技術

- ・CBR
- ・制度・政策面
- ・普及

今後のリハ分野の国際協力

➤ 協力を通じた双方の学びの可能性



2025年 地域包括ケアシステム

第3回 アジア太平洋CBR会議

THE THIRD ASIA-PACIFIC COMMUNITY-BASED REHABILITATION (CBR) CONGRESS



日 時 : 2015年9月1日(火)~3日(木)

場 所 : 京王プラザホテル (新宿 東京)

テーマ : コミュニティベースのインクルーシブ開発(CBID)を通しての貧困削減と持続可能な開発目標(SDGs)

参加費 : 一般3万円 学生1万5千円

同時通訳・情報サービス付



4年に一度のアジア太平洋地域のCBRの大会が
今年9月に東京で開催されます。
関心のある方は是非ご参加を！

